

**本社移転に伴い、
電話番号が変わります。**

2014年5月7日(水)

9:00~

03-6262-3923

**5月2日(金)17:00までは
03-3222-1220(現行)**

**3、4、5、6日は
休業日となります**

【移転先】

〒104-0031

**東京都中央区京橋三丁目3番4号
京橋日英ビル 3階**

**【本社移転・電話番号変更に関するお問い合わせは】
クローバー・アセットマネジメント株式会社
gyoumu@clover-am.co.jp**

3%の先の未来

2014年4月9日

クローバー・アセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 多根幹雄

4月になって消費税が上がりました。買い物をする度に「あれ？思ったより高いな」と思って良くみると、消費税分が結構大きいことに気づきます。たかが3%、されど3%なのです。問題は、消費税そのものではなく、この機に乗じてまたぞろ多くの無駄使いが復活していることです。日本の問題として、国が多くの借金をしている点が指摘され、その為にも消費税を上げるべきだとの声が国内外から多く寄せられています。しかし、そもそも多額の借金を生んだ根源である「タカリ精神」や「依存精神」こそが日本の最大の問題だと私は思っています。

例えばスイスで、もし風邪をひいて医者に行くと、まず全額自己負担になります。金額でいうと2万円弱でしょうか。ただ、医療費の自己負担が大きいために、風邪をひかないように、あるいはむし歯にならないよう努力することで、結局病気にならず、結果として全体の医療費も少なくなります。一方で、個人の累積の医療費がある金額を超えると、今度は一転して保険で9割を負担してもらえます。つまり、困らない程度の病気は自分できっと対応し、どうしても困った時のみ保険を利用するという仕組みになっています。

このほか、スイスではかなり優先順位の高い公共投資でも、費用の負担や環境保全など後々のことも考えて簡単に決めません。優柔不断というよりは、皆さんが自分の利益よりも皆や将来の人に対して責任を持っているのです。日本ではすぐ自分の都合で政治家に陳情し、予算を引っ張って来て公共投資をするために、不必要な施設や道路がどんどん造られてしまいます。このように、国民が国を頼り、政治家や官僚がその気持ちを利用してきた象徴が、現在の1000兆円を超える国の借金ではないでしょうか。

ただ、それもそろそろ限界なのは誰の目にも明らかです。何でもかんでも国の責任にし、国に頼ることは改めなければなりません。かつて福沢諭吉は『一身独立して、一国独立す。』と説きました。当時と日本を取り巻く環境は大きく変わりましたが、今こそこの精神が必要な時でしょう。お金の面でも国の年金が頼れない時代に近い将来なるのは明らかです。これを解決するには国に頼らず、自分が自分の将来のために、『自分年金』づくりを今日からでも始めなければいけない時だと切実に思っています。

ファンド概況

基準価額	10,613円	純資産総額	2,975百万円
設定日	2013年4月15日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

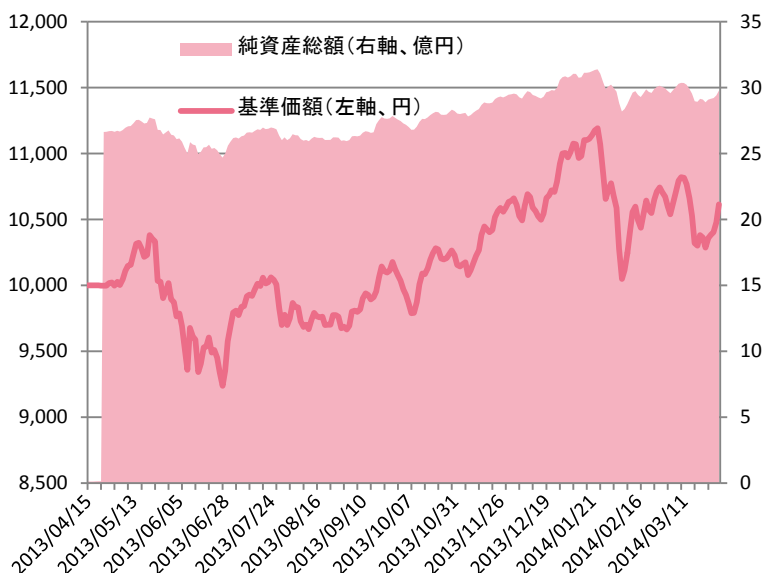
期間別騰落率(%)

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-0.55	-3.52	4.03	—	—	6.13

分配金(円)

1期 ('14/2/25)	2期	3期	累計
0	—	—	0

基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

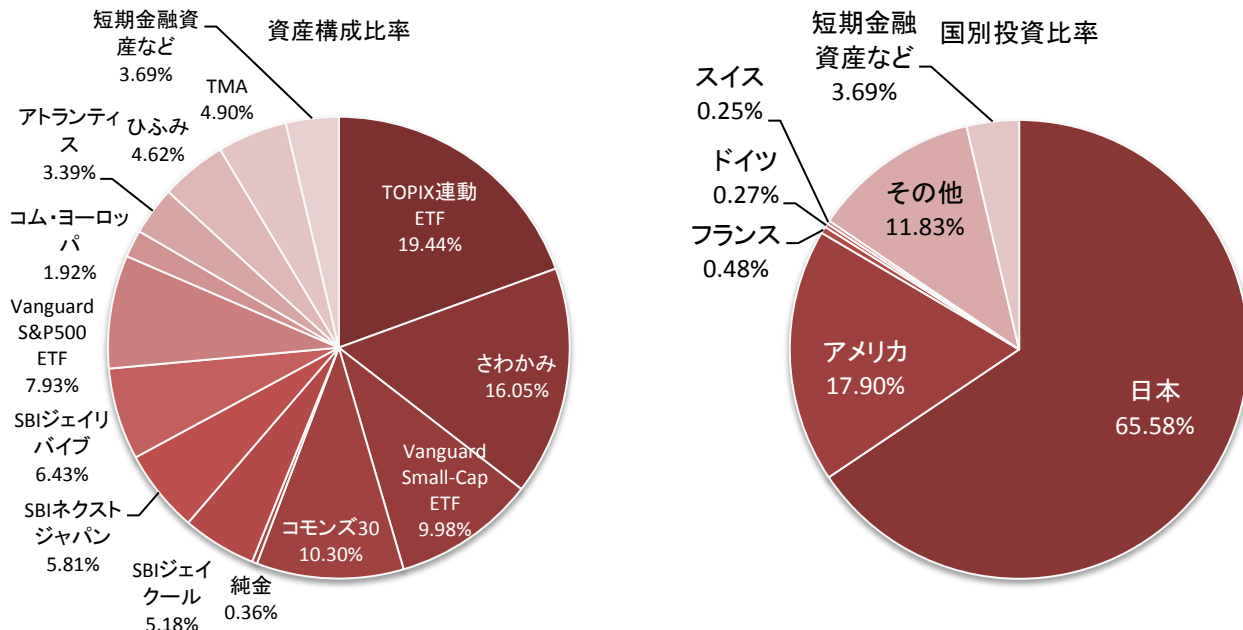
3月前半は、想定外の地政学的リスクに市場も混乱しました。3月1日、ロシア議会でクリミア半島への軍事介入(軍の派遣)を決定、ロシアによるクリミア・セヴァストポリの編入にまで至っています。もちろん、西側諸国はこれを認めず、米国を中心にロシアへの経済制裁を発動、再び冷戦時代へと逆戻りしてしまいそうな動きが続いています。しかし実際には、東西の経済的交流が冷戦時代とは比べ物にならないほど深く結びついている今、かつてのように分断された世界にはならないと推定しています。

その一方、FRB(米連邦準備制度理事会)による量的緩和縮小が進行する中、イエレン議長発言(失言?)「来春の金利引き上げ」も市場を大きく揺さぶりました。しかし、これも結局、3月末の「労働市場は、依然として脆弱」との金融緩和縮小に慎重な本来のハト派的発言で帳消しになった感があります。結局、NYダウは、1.79%のプラス、中盤で大きく下げた日本市場でも日経平均(-0.09%)、TOPIX(-0.72%)ともわずかなマイナスに落ち着きました。

こうした中、コドモファンドは、SBI中小型割安成長株ファンド、同中小型成長株ファンド、バンガード S&P500 ETFが貢献してくれました。月末時点では-0.55%のマイナスとなりました。

今後は、今までの金融緩和による株式市場全体の上昇から、より選別がはっきり進んでくると考えています。タイミングを見計らいながら、徐々にETFの比率を減らし、個別株ファンドに資金を移動してゆく予定です。

ポートフォリオの状況



※アトランティス・ジャパン・オポチュニティーズ・ファンドについては2014年2月末の情報を使用しております。

コドモファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率 (ETFは除く)

(組入れ銘柄数: 511銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入れ比率	組入れファンド名
1	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	0.841%	さわかみ
2	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	0.742%	さわかみ
3	花王	家庭用・業務用の洗剤・トイレタリー用品の製造・販売	0.483%	さわかみ
4	国際石油開発帝石	石油・天然ガス等の調査、探鉱、開発、生産、販売など	0.461%	さわかみ
5	デンソー	トヨタグループに属する自動車部品メーカー	0.440%	さわかみ
6	三菱重工業	船舶、航空など総合機器メーカー	0.429%	さわかみ
7	楽天	「楽天市場」等インターネット総合サービスを展開	0.414%	コモンズ30
8	本田技研工業	二輪・四輪・汎用機を製造する世界的メーカー	0.414%	コモンズ30
9	味の素	アミノ酸をコアとした食品企業グループ	0.405%	コモンズ30
10	S M C	空圧機器などを製造・販売(日本)	0.393%	コモンズ30

ファンドの特色

①「長期投資」

世界経済は大きなサイクルでダイナミックに変化しており、それに伴って、株式や債券、商品、不動産等の資産価格も変動しています。短期的な動きには追従せずに、長期的な視点で世界を俯瞰した運用を行います。

②「分散投資」

政治・経済の様々なリスクに対応するために、国や地域、資産そして時間を分散させます。分散投資をより効果的に行うために、国内外の複数のファンドに投資します。

③「厳選したファンド」

当ファンドの目的や運用方針を共有できる運用会社を厳選し、その会社が運用するファンドに投資します。また組入れにあたっては、国内外のETF(上場投資信託証券及び上場投資証券)に投資する場合があります。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.05%(税抜き1.0%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.9±0.25%(概算)
その他費用・ 手数料	信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

業務管理部からのお知らせ

【ご登録内容の変更はございませんか？】

すっかり春らしい陽気となりました。新年度も始まり、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

ご転居等によりご住所、ご連絡先に変更はございませんか。

お取引に関する重要な書類や大切なお知らせなどがお届けできなくなりますので、ご変更がございましたら、下記の手順にて必ず変更手続きをお願い致します。

①「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページまたはお電話にてご請求ください。

②「登録事項変更届」にご記入のうえ、ご返送ください。

※弊社ご登録印であることをご確認ください。

※新住所が記載された「ご本人様確認書類」(運転免許証の写し・住民票等)をご同封ください。

③後日、弊社より「登録内容変更の控え」を発送いたしますので、内容をご確認ください。

なお、**メールアドレスのご変更は、弊社ホームページまたはお電話でもお手続きを承ります。**

＜ホームページの場合＞

「各種お手続き」→「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォームよりご連絡ください。

＜お電話の場合＞

「メールアドレスが変更となった」旨をお申し出ください。

【「お取引残高報告書 兼 残高照合通知書」の発送について】

「お取引残高報告書 兼 残高照合通知書」を発送いたしました。

今回は、2014年1月～3月末までに、受渡日が到来したお取引をされたお客様と最後のお取引から1年が経過したお客様が発送の対象となっております。

対象となるお客様のうち、残高がある方には、3月末時点の基準価額での時価評価が記載されておりますのでご確認ください。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成26年5月	受付終了	4月21日(月)	5月7日(水)	5月19日(月)
平成26年6月	4月30日(水)	5月23日(金)	6月5日(木)	6月17日(火)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認(氏名、住所、現在の契約内容等)をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部 (受付時間: 平日9時～17時)

TEL: 03-3222-1220 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。